

千年の時間を刻む田染荘

永松, 博文
豊後高田市 : 市長

<https://doi.org/10.15017/1523926>

出版情報 : 歴史を歩く時代を歩く : 服部英雄退職記念誌 : とことん服部英雄, pp.316-, 2015-03-31.
九州大学大学院比較社会文化研究院服部英雄研究室
バージョン :
権利関係 :

千年の時を刻む田染荘

永松 博文

この度、定年をお迎えになられ退職されますこと誠におめでとございます。

多くのご指導を賜りました服部先生には言葉にできないほどの感謝の気持ちでいっぱいでございます。先生とは、私が市長に就任して間もない頃からお付き合いをさせていただいており、一六年もの月日が経過いたしました。その間、先生には豊後高田市の文化財保存に多大なご尽力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

本市は、商店街振興に観光の要素を取り入れた「昭和の町」づくりをすすめ、現在では約四〇万人もの観光客におこしいただくまでになりましたが、私が市長に就任して初めて手掛けた事業は、この「昭和の町」ではなく、田染荘の保存でございます。市長就任時には、既に田染荘の圃場整備の話が進んでおり、どうしたものかと思案しておりましたところ、先生に田染荘の価値、そして保存する重要性を教えていただきました。先生の田染荘に対する熱い思いに背中をおしていただいて、引き継いだ方針を転換し、保存するという正しい判断ができたこと感謝いたしております。

平成二二年の重要文化的景観選定につきましても、職員を指導していただいた上に、何度も田染荘にもお越しいただきました。私は、学生さんと楽しそうに田植えをされる飾らない先生のお人柄が大好きで、お会いできるのを毎回楽しみにしております。

田染荘の重要文化的景観選定だけでなく、富貴寺につきましても、大変なご尽力をいただきました。平成二五年に「富貴寺境内」が史跡に指定されております。

これも先生のご指導なくしては、なしえなかったことでございます。

これまで服部先生より賜りました多くの学びを胸に、誠心誠意田染荘をはじめとする貴重な文化財を保存して参りますので、退職後におきましても、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻をお願いしたいと思っております。

末筆になりましたが、服部先生のご健康とご多幸、そして益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(豊後高田市市長)

*服部コメント

前市長からは禅譲であったが、田染圃場整備実施も止むなしという引き継ぎだった。田園空間博物館については本書・鮫島信行氏(当時農水省圃場整備担当課長補佐)の寄稿とコメントを参照されたい。永松市長は石井先生や海老澤さん、飯沼さんたちから田染が歴史的に貴重なものとの説明を受け、保存の方針変更を決断していた。市長は平松守彦知事(当時)と懇意であったが、知事はこの事業を知らなかった。知事は新しいものが好き。指示により着手したが、不調となった事業(貨物空港など)があつて、周囲が情報を入れていなかったらしい。複数自治体が事業主体であれば、県営事業となる(市の負担はなくなる)。市長による調整があり、大田村との共同事業となった。市長自ら何度となく、田染小崎(足を運び、住民に働きかけた。清原農地課長も、それ以上の頻度で足を運んだ。また佐々木敏夫県議や河野徳久市議の働きかけが大きかった。当時の助役ら執行部の一部でさえ、まとまるはずがないといっていたけれど、小崎の人たちはまとまったのである。奇跡の保存を実現した人々である。